

青少年国際交流事業事後活動推進大会
日本青年国際交流機構第 34 回全国大会
第 25 回青少年国際交流全国フォーラム千葉大会
開催要綱

1. 目的

内閣府、地方公共団体等の行う青少年国際交流事業の既参加青年が集まり、地域における事後活動の推進状況を報告するとともに、全国的な事後活動を更に充実させるための方策について積極的に意見交換を行い、既参加青年相互の交流と研さんを図り、今後の国際交流活動及び地域社会における諸活動の推進に貢献するとともに、国際交流活動を一般の方にも紹介していくことを目的とする。

2. テーマ

『時代を切り拓く開拓者精神』
～未来につながる新たな挑戦者を目指して～

グローバル化や科学技術・医療などの発展が進む現代において、私たちは当たり前のようにその恩恵を受けていますが、それは先人たちが試行錯誤、挑戦と失敗を繰り返しながら数々の発見や成功を導いてきたからに他なりません。

千葉県においても、日本で初めて実測地図を完成させた伊能忠敬や、享保の大飢饉をサツマイモの栽培・収穫によって救った青木昆陽、初の女性留学生かつ最年少でアメリカへ渡った津田梅子らを始めとして、土地や歴史、風土を活かし、先進的なテーマに取り組み、成功を収めた偉人たちが数多く存在し、今に至るまでそのアイデアや精神が私たちに影響を与え続けています。

本大会の開催地である佐倉市は、佐倉藩の城下町ですが、第五代藩主堀田正睦のもと多文化共生という言葉がまだない江戸時代末期において積極的にオランダとの交流を深め、鎖国していた日本を開国へと導きました。そして堀田が招いた佐藤泰然によって創設された佐倉順天堂（現在の順天堂大学）を中心に、西の長崎/東の佐倉と呼ばれるほどにまで蘭学が発展し、医学発祥の地として近代医学者を数多く育成しました。

こうして時代を切り拓いてきた佐倉の地において、“新たな日本の街づくり”として先駆けるのが、「ユーカリが丘」地域の街づくりです。ユーカリが丘は、グローバル化はもちろん、少子高齢化や人口減少など時代の変遷に伴う様々な課題を予見し、常に時代を先取りした開発を行うことで発展し続けてきた街です。内閣府の「まち・ひと・しごと創生本部」が現在策定を進めている「生涯活躍のまち（日本版 CCRC※）」構想のモデルとしても注目されています。（※CCRC…Continuing Care Retirement Community：継続したケアを受けられる高齢者コミュニティ）

基調講演では、昭和 46 年の開発当初から現在まで、ユーカリが丘の開発を担ってきた山万株式会社から林 新二郎 氏をお迎えして、当時としては革新的な挑戦を続けてきた背景や、開発に対する想いについてご講演いただきます。将来にわたって成長し続ける街のビジョンを描き、そして描いた夢の数々を実現可能にしてきた、一民間企業の街づくりとは？その精神やアイデア、そして国際化に向けた取組等を通して、未来につながる持続可能な社会について、皆さんと一緒に探っていきたいと思います。

本大会の開催期間を通じて、様々な分野で活躍するパイオニアたちの経験や考えを共有し、世界の中での立ち位置を考えながら、私たちが抱えている課題の解決のためのヒントを発見する場を設けます。そして、それぞれが国際交流や地域活動の中で培ってきた経験やネットワークを活かしつつ、多文化共生の時代にフロントランナーとして地域から世界へと活躍する人材となっていくことを目的とし、本大会を開催します。

3. 主催

内閣府 日本青年国際交流機構 一般財団法人青少年国際交流推進センター 千葉県青年国際交流機構

4. 後援（予定）

千葉県 佐倉市 成田市（他申請中）

5. 主管

日本青年国際交流機構第 34 回全国大会千葉大会実行委員会

6. 期日

平成 30 年 12 月 1 日（土）～12 月 2 日（日）

7. 会場

<メイン会場> ウィンシュトンホテル・ユーカリ（千葉県佐倉市ユーカリが丘 4-8-1）

8. 対象者

内閣府、地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心がある青少年等

9. 参加費

□全日程参加(宿泊あり)

| | |
|-----------|----------|
| 大人(中学生以上) | 17,500 円 |
| 子供(小学生) | 7,500 円 |
| 子供(幼稚園以下) | 無料 |

□日帰り参加(小学生以下は無料)

| | |
|------------------|----------|
| 全日程(全体会、分科会、懇親会) | 11,500 円 |
| 半日(全体会、分科会) | 4,000 円 |
| 一部 | 2,000 円 |

※全体会とは、基調講演、表彰式、帰国報告会、特別講演を指し、その一部又は全部に参加することを意味します。

※ホテルの配室は原則シングルとなりますが、満室になり次第、ツイン等になる可能性があります。同室者がいる場合は、料金変更なしでツイン等を手配します。

10. 日程

第1日目 12月1日(土)

| | |
|-------------|--|
| 12:30~13:30 | 受付 |
| 13:30~14:00 | 開会式 |
| 14:00~14:15 | 記念撮影 |
| 14:15~15:45 | 基調講演 「持続可能な街づくりとは ~時代を先駆ける“ユーカリが丘”の開発から学ぶ」 講師 山万株式会社 専務取締役 林 新二郎 氏 |
| 16:00~18:00 | 分科会 |
| 18:00~19:00 | チェックイン・休憩 |
| 19:00~20:30 | 懇親会 |

第2日目 12月2日(日)

| | |
|-------------|--|
| 7:00~8:30 | 朝食、チェックアウト |
| 9:00~9:30 | 日本青年国際交流機構 表彰式 |
| 9:30~10:00 | 帰国報告会 |
| 10:00~11:00 | 特別講演 「ローカル線で地方を元気に！~いすみ鉄道 奇跡の復活の背景~」 講師 いすみ鉄道株式会社 前社長 鳥塚 亮 氏 |
| 11:00~11:30 | 閉会式 |
| 12:00~ | 地域理解研修(オプション) |

11. 分科会・地域理解研修

■テーマ別分科会

- (1) 持続可能な街づくりの実現方法について考えよう
 - A. 「成長し続ける街」をつくるには？-ユーカリが丘を事例として
 - B. 最期までいきいきとあわせに暮らす「日本版 CCRC」を目指して
 - C. 鉄道マン体験ツアー！ユーカリが丘線「こあら号」の軌跡
 - D. フルーツトマトが農業を救う？都市型農業の未来
- (2) 「温故知新」先人たちから受け継いだ歴史や文化を学び、未来につなげよう
 - E. かながわふしぎ発見！【神奈川県 IYEO 協力】
 - F. “上毛かるた”の熱き戦いにご招待【群馬県 IYEO 協力】
 - G. “国際化の原点”佐倉が切り拓いた蘭学の歴史
 - H. レンズを通して佐倉の歴史を探索しよう【埼玉県 IYEO 協力】
 - I. 国立歴史民俗博物館の「ウラ側」に迫る！
- (3) 地域から世界へ グローカルな視野を身につけよう
 - J. 「チーバくん大使」とともに考える、世界へ発信する地域の魅力
 - K. ベリーダンスに魅せられて~ダンスを通して見えるもの~【埼玉県 IYEO 協力】

- L. なぜ、今「地域」なのか?～N=1の活動からグローバルを読み解く～ 【茨城県 IYEO 協力】
 M. 東京 2020 大会準備の裏側と大会を 100 倍楽しむ方法 【東京都 IYEO 協力】

■地域理解研修（オプション）

- ①DIC 川村記念美術館コース
- ②国立歴史民俗博物館コース
- ③飯沼本家酒造コース
- ④成田山表参道&新勝寺コース
- ⑤成田空港制限区域コース

12. 実行委員会

| | | | |
|--------|--------|----------|----------------------------|
| 実行委員長 | 井上 翔太 | 賛助会員 | |
| 副実行委員長 | 高橋 真希 | 平成 25 年度 | 第 40 回 「東南アジア青年の船」 事業 |
| 事務局長 | 石原 裕文 | 平成 19 年度 | 第 14 回 国際青年育成交流事業（カンボジア王国） |
| 会計 | 清田 実樹宏 | 平成 19 年度 | 第 21 回 日本・韓国青年親善交流事業 |
| 委員 | 塩塚 直邦 | 平成 15 年度 | 第 16 回 「世界青年の船」 事業 |
| 委員 | 葛西 真由美 | 平成 15 年度 | 第 16 回 「世界青年の船」 事業 |
| 委員 | 石崎 好章 | 平成 13 年度 | 第 15 回 日本・韓国青年親善交流事業 |
| 委員 | 大久保 彩子 | 平成 8 年度 | 第 9 回 「世界青年の船」 事業 |
| 委員 | 樋口 博康 | 昭和 59 年度 | 第 11 回 「東南アジア青年の船」 事業 |
| 委員 | 松本 実結貴 | 賛助会員 | |
| 委員 | 秋葉 直弘 | 平成 10 年度 | 第 20 回 日本・中国青年親善交流事業 |
| 委員 | 小田 玲実 | 平成 19 年度 | 第 29 回 日本・中国青年親善交流事業 |
| 委員 | 大久保 知明 | 平成 28 年度 | 第 43 回 「東南アジア青年の船」 事業 |
| 委員 | 白佐 和也 | 平成 28 年度 | 第 43 回 「東南アジア青年の船」 事業 |
| 委員 | 佐藤 文香 | 平成 27 年度 | 第 22 回 国際青年育成交流事業（ドミニカ共和国） |
| 委員 | 阿部 由美穂 | 平成 29 年度 | 第 24 回 国際青年育成交流事業（ドミニカ共和国） |
| 委員 | 中田 麻優 | 平成 29 年度 | 第 24 回 国際青年育成交流事業（ドミニカ共和国） |
| 委員 | 南雲 聡子 | 昭和 62 年度 | 第 21 回 「青年の船」 事業 |
| 委員 | 庄野 千晶 | 平成 11 年度 | 第 6 回 国際青年育成交流事業（タイ王国） |
| 委員 | 小泉 秋乃 | 平成 29 年度 | 「世界青年の船」 事業 |

開催案内詳細

■基調講演

【講演テーマ】

「持続可能な街づくりとは ～時代を先駆ける“ユーカリが丘”の開発から学ぶ」

本大会のテーマ「時代を切り拓く開拓者精神～未来につながる新たな挑戦者を目指して～」は、これまで様々な分野で活躍し現代へと続く貢献を果たしてきた先人達の経験やアイデアを理解し、そこから学びを得、私たちが今抱えている課題の解決のためのヒントを発見する場を創出したいという想いで決定しました。

この基調講演では、開催地である佐倉の地において、“新たな日本の街づくり”として先駆ける「ユーカリが丘」地域の街づくりに注目したいと思います。ユーカリが丘は、グローバル化はもちろん、少子高齢化や人口減少など時代の変遷に伴う様々な課題を予見し、常に時代を先取りした開発を行うことで発展し続けてきた街です。昭和 46 年の開発当初から現在まで、ユーカリが丘の開発を担ってきた山万株式会社より、林新二郎氏をお迎えして、当時としては革新的な挑戦を続けてきた背景や、開発に対する想いについてご講演いただきます。将来にわたって成長し続ける街のビジョンを描き、そして描いた夢の数々を実現可能にしてきた、一民間企業の街づくりとは？その精神やアイデア、そして国際化に向けた取組等を通して、未来につながる持続可能な社会について、皆さんと一緒に探っていきたいと思います。

【講師プロフィール】

山万株式会社 専務取締役 林 新二郎 氏

1959 年千葉県に生まれる。中央大学法学部政治学科卒業。1983 年山万株式会社に入社。95 年取締役、99 年常務取締役を経て、2015 年より専務取締役就任。千葉県佐倉市総合計画策定委員、千葉県旭市総合計画策定委員、経済産業省 地域を支えるサービス事業主体のあり方に関する研究会委員 等を歴任。講演歴として、2013 年 Smart City Week「『成長し続ける街』の作り方」、2015 年 日本版 CCRC 構想有識者会議「ユーカリが丘で見るコミュニティビジネス」、2017 年 関東財務局さいたま活性化サロン「地域活性化に向けた街づくり」など。

■テーマ別分科会

(1) 持続可能な街づくりの実現方法について考えよう

A. 「成長し続ける街」をつくるには？—ユーカリが丘を事例として

昭和 30 年代より、高度経済成長期につくられた「ニュータウン」の多くが現在高齢化の進展と人口の減少に悩む中、会場地であるユーカリが丘ニュータウンは現在も人口が増え続け、住宅の資産価値も下がらない街として各種メディアで取り上げられています。開発開始より約 45 年にわたって発展し続けてきた背景にはどのような取組が成されてきたのでしょうか。ユーカリが丘の街づくりコンセプトから歴史、将来ビジョンまで、基調講演の内容をさらに深めた内容を、山万株式会社より講師をお招きしお話しいたします。また本分科会では、「ユーカリが丘街ギャラリー」にて、街全体を一望できる巨大ジオラマを見学しながら、質疑応答も含めご案内いただきます。

B. 最期までいきいきとしあわせに暮らす「日本版 CCRC」を目指して

ユーカリが丘の街づくりは、内閣府の「まち・ひと・しごと創生本部」が現在策定を進めている「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想のモデルとしても注目されています。CCRC…Continuing Care Retirement Community とは、【継続したケアを受けられる高齢者コミュニティ】を指しますが、ユーカリが丘では CCRC を「生涯にわたって住み続けられる街づくり」の一つの考え方と捉え、あらゆる世代の様々なライフステージに応じた継ぎ目のないサポート体制を築いています。本分科会では、その中でも特に、高齢者のために整備された「福祉の街」の視察を通して、現代の医療・介護・福祉の課題に対しどのように向き合い、対応していくべきか、学びの場を得ます。

C. 鉄道マン体験ツアー！ユーカリが丘線「こあら号」の軌跡 参加費：500 円 20 名限定

日本で唯一の中央案内軌条方式（VONA）・民間初の新交通システムを採用した「山万ユーカリが丘線」。鉄道好きの方は一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。「こあら号」の愛称で親しまれています。「中学校」「公園」など他に例を見ない駅名や、テニスラケットのような環状路線がおもしろい電車ですが、なぜこのような鉄道が誕生したのでしょうか？今回は、特別に車両基地を見学させていただきながら、

実際に働く鉄道マンからお話を伺います。お子様たちが喜ぶこと間違いなしです！

D. フルーツトマトが農業を救う？都市型農業の未来 参加費：500円 20名限定

講師：株式会社 山万ユーカリファーム 部長 小川 智久 氏

現代の「農」を取り巻く環境は、不耕作地が増え、専業農家も減ってきています。持続可能な都市近郊型農業経営のモデルを目指すユーカリファームでは、クライנגルテンでの住民同士の交流やマルシェ・料理教室などのイベントを開催し、農や食文化を通して地域社会の活性化に貢献することを目指しています。2015年より販売を開始したフルーツトマトは、太陽光利用型植物工場で生産しており、2016年モンドセレクションで金賞を受賞しています。実際に工場を見学しお話を伺うほか、トマトの試食とお土産付き。

(2) 「温故知新」先人たちから受け継いだ歴史や文化を学び、未来につなげよう

E. かながわふしぎ発見！【神奈川県 IYEO 協力】 参加費：1,000円

神奈川県 IYEO は「かながわふしぎ発見！」と題し、魅力溢れる神奈川県について料理を作りながら、その魅力について学ぶワークショップを開催します。中でも今回は湯河原や、小田原といった自然特徴的な西湘地域をご紹介します。湯河原名物の坦々焼きそばや他西湘にゆかりある料理に舌鼓を打ち西湘について学んでみませんか？

F. “上毛かるた”の熱き戦いにご招待【群馬県 IYEO 協力】 参加費：500円 18名限定

日本敗戦後、「このように暗く、すさんだ世の中で育つ子どもたちに何か与えたい。明るく楽しく、そして希望のもてるものはないか」と考え作られたかるたは、今も群馬県内の子供に群馬県の名物、歴史などを教えるツールとして使われています。子どもたちが楽しみながら、生まれ育った地域（郷土）に愛着が持て、地域のことを学ぶ役割をする「上毛かるた」を知ることで、青少年育成活動や地域活性化に関わる活動の今後のアイデアにつながることを期待し開催いたします。かるた対戦後に群馬の地酒試飲とお菓子試食体験付き。

G. “国際化の原点”佐倉が切り拓いた蘭学の歴史

佐倉順天堂は藩主堀田正睦の招きを受けた蘭医佐藤泰然が開いた蘭医学の塾兼診療所。西洋医学による治療と同時に医学教育が行われ、明治医学界をリードする人々を輩出しました。現在、建物の一部が残り、「旧佐倉順天堂」として千葉県の史跡に指定され、記念館では、当時の医学書や医療器具などを展示しています。本分科会では、蘭学の歴史に精通した地元の方を講師としてお招きし、鎖国中、どのように国際化への一歩を踏み出したのか、また、現在も続くオランダとの草の根交流についてお話を伺い、理解を深めます。

H. レンズを通して佐倉の歴史を探索しよう【埼玉県 IYEO 協力】 交通費（当日実費）：2,000円程度

国際交流・青少年育成・地域活性化などの活動紹介や事業の広報は、事業を知らない人にも興味・関心を持ってもらえるように、近年 WEB や SNS での発信が増えています。中でも写真は目で見て伝えられるノンバーバルなコミュニケーションのツールであり、広報の重要な要素です。今回は佐倉市内の武家屋敷エリアを散策しながら、思わず目に留まる写真の撮り方のレクチャーをしていただきます。

I. 国立歴史民俗博物館の「ウラ側」に迫る！

「歴博」の愛称で親しまれている国立歴史民俗博物館は、昭和 58 年 3 月に開館しました。本館は日本の歴史と文化について総合的に研究・展示する歴史民俗博物館で、千葉県佐倉市にある佐倉城址の一角、約 13 万平方メートルの敷地に延べ床面積約 3 万 5 千平方メートルの壮大な規模を有する歴史の殿堂です。つなげる・ひろげる・つたえる・みつけるといったキーワードを理念に、だれもが理解しやすい展示を目指し、＜歴史が切り拓く未来＞を見据えた取組を展開しています。本分科会では、博物館の学芸員の方にお越しいただき、見学とは違う視点で「歴博の今までとこれから」についての話を伺うことで、各地域の未来を切り拓く参考となるものを得ましょう！

(3) 地域から世界へ グローカルな視野を身につけよう

J. 「チーバくん大使」とともに考える、世界へ発信する地域の魅力

講師：山万株式会社 余 紀萱 (phoebe yu) 氏 (2018 年度チーバくん大使)

千葉県では、県内在住の留学生などの外国人の方に、個人のブログや Facebook 等を通じて、千葉県の魅力（観光、食、日常生活など）を、それぞれの母国語で発信していただく「チーバくんと共に千葉県の

魅力を海外に向けて発信する大使」(略称：チーバくん大使)の取組を平成23年(2011年)から行っています。チーバくん大使の方々と一緒に、地域の魅力を世界へ発信していくための具体的な取組について意見交換をしながら学びを深めます。

K. ベリーダンスに魅せられて～ダンスを通して見えるもの～ 【埼玉県 IYEO 協力】

講師：浜村 めぐみ 氏(第15回世界青年の船事業参加)

中東やアラブ地域と聞くと数々の争いや混乱などのネガティブな印象が先行しがちですが、実は豊かな文化が育まれてきた土地でもあります。なかでもアラブ発祥のベリーダンスは世界最古の踊りともいわれ、イスラームが伝来する以前から存在している由緒ある踊りです。今回はベリーダンサーとして世界各国で指導経験があり、20年以上のキャリアを持つメグマイヤさんが、ベリーダンスを足掛かりにエジプトを中心としたアラブ地域の歴史的背景や文化の違いなどを紹介します。また実際にベリーダンスの音楽と踊りを体験することで、文化や価値観の違いによる差異を受け入れ、楽しむ方法を探求します。

L. なぜ、今「地域」なのか？N=1の活動からグローバルを読み解く 【茨城県 IYEO 協力】

講師：博報堂ブランドデザイン副代表/スマート×都市デザイン研究所 所長 深谷 信介 氏

先進国日本の課題最先端地は日本の地域である、この共通認識は随分と浸透してきたようです。一方、その複雑な課題に対する解決策は各地で模索中であり、これといったアプローチなり手法なりが見出せていないというのが率直な現状である、と私は考えています。地域(region)という考え方に立てば、地方も中央も海外もなくフラットにモノコトを見ることができる、そんな新たな視点をどれくらい探索することができるのか？みなさんと対話しながら、見出していきたいと思えます。

M. 東京2020大会準備の裏側と大会を100倍楽しむ方法 【東京都 IYEO 協力】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まで残すところ2年を切りました。マスコットも決まり、9月中旬からは大会ボランティアの募集も始まります。大会に向けての「これまで」と「これから」について知っていただくとともに、特に競技という大会の本旨となるトピックにフォーカスして皆さんが大会を100倍楽しむようお手伝いして参ります。「参加することに意義がある」だけでなく、参加したことで何か皆さんの経験や知識となるようなアクティビティも実施予定です。

■特別講演

【講演テーマ】

「ローカル線で地方を元気に！～いすみ鉄道 奇跡の復活の背景～」

講師の鳥塚氏は、子どもの頃からの鉄道ファンで、2009年に経営立て直し中のいすみ鉄道の社長公募に応募し採用されました。現在では多くの方が訪れる人気の観光列車「ムーミン列車」の運行や、自社要請運転士プロジェクト、物販の拡充など、次々と経営立て直し策を実行、無名のローカル線だったいすみ鉄道を全国区の知名度へと牽引しました。また、その中では、地域住民との関わりも深かったそうです。講演では、いすみ鉄道の生き残りをかけ、様々な革新的な取組に踏み切った当時のお気持ち、また地域住民とどう関わっていったのかなどをお話いただきます。また、ローカル線が地域社会へもたらす効果についてのお考えを伺い、私たちの地域活動に活かしていきましょう。

【講師プロフィール】

いすみ鉄道株式会社 前社長 鳥塚 亮 氏

1960年 東京生まれ

子供の頃から乗り物好き。新幹線の運転士になるのが夢だったが、国鉄赤字による採用中止で断念。2009年(49歳)で、経営立て直し中のいすみ鉄道の社長公募に応募して採用される。同社社長就任後は、「訓練費用自己負担運転士」「ムーミン列車の運行」などの営業努力で収支を改善。いすみ鉄道の存続に筋道をつけた。その後も「キハ52形」「キハ28形」の導入、「イタリアンランチクルーズトレインの運行」などを行なっている。2018年6月任期満了に伴い退任。現在はNPO法人おいしいローカル線をつくる会理事長として全国のローカル線支援を行っている。

■地域理解研修(オプション)

①DIC川村記念美術館コース 参加費：3,200円(別途、交通費実費) ※催行20名以上

佐倉市郊外にある、広大な庭園の中にある美術館を見学するコース。クロード・モネ、パブロ・ピカソ、マルク・シャガールなどの作品を収蔵しているなど、日本でも有数の規模の近現代美術コレクションを所蔵。コレクションの鑑賞はもちろんのこと、敷地内には自然散策路もあり、季節の花や植物、情景などを楽しむことができます。雑誌の特集などにも取り上げられることもあるこの美術館にぜひ立ち寄ってみて

ください。なお、ランチは美術館併設のレストラン・ベルヴェデーレ（イタリア語で「美しい眺め」）で、窓からの景色を楽しみながら地元・千葉県産の食材を積極的に取り入れたイタリアン料理を召し上がっていただきます。

11時58分ユーカリが丘駅発→電車移動（実費）京成佐倉駅で送迎バスに乗換→12時50分昼食→美術館見学→15時50分美術館発→16時10分JR佐倉駅→16時20分京成佐倉駅解散

②国立歴史民俗博物館コース 参加費：1,800円（別途、交通費実費）

佐倉市にある佐倉城址の一角、約13万平方メートルの敷地に延べ床面積約3万5千平方メートルの壮大な規模を有する歴史の殿堂を見学するコースです。「歴博」の愛称で親しまれ、日本の歴史と文化について総合的に研究・展示しています。原始・古代から現代に至るまでの歴史と日本人の民俗世界をテーマに、実物資料や精密な複製品・復元模型などを積極的に取り入れ、日本の歴史と文化について理解を深められるよう展示されています。歴史好きの方にはもちろん、そうでない方にも一度は足を運んでいただきたい佐倉市の代表的なスポットです！ランチ付き。

11時58分ユーカリが丘駅発→電車移動（実費）京成佐倉駅着→12時30分歴博到着（徒歩15分）→ランチ・ガイド等→15時30分歴博出発→15時45分京成佐倉駅解散

③飯沼本家酒造コース 参加費：3,000円 20名限定

佐倉市のお隣、酒々井町にある日本酒の蔵元の見学コースです。江戸元禄年間（1688年～1703年）創業で、300年以上続く伝統の清酒「甲子正宗（きのえねまさむね）」を造っています。日本酒がブームの今、酒蔵見学をしたことがある人もない人も日本酒の奥深さをさらに感じていただける絶好の機会です！ランチ付き。

12時ホテル出発→12時30分飯沼本家（ランチ・蔵元見学等）→15時45分JR佐倉駅→16時京成佐倉駅解散

④成田山表参道&新勝寺コース 参加費 2,500円（別途、交通費実費）

江戸時代から門前町として栄え、今でも当時の名残を留める成田山表参道と年間1,000万人以上が訪れる成田山新勝寺を巡るコースです。表参道には、150店以上の飲食店や土産店が立ち並び、名物のうなぎ料理を始めとしたグルメやお土産選びをたっぷり楽しめます。また、成田山新勝寺は、旧本堂や三重塔などの国の重要文化財を5棟も擁する全国屈指の仏閣。本堂での護摩祈祷の後、ガイドさんに成田山の歴史、見どころを歩きながら詳しく解説してもらいます。ランチは老舗の食事処で日本情緒と鰻を堪能しましょう。

11時58分ユーカリが丘駅発→電車移動（実費）→京成成田駅到着→16時20分解散

⑤成田空港制限区域コース 参加費：4,000円 20名限定

日本の重要な空の玄関口であり、訪日外国人観光客や東京オリンピック・パラリンピック開催に向け利用者の増加が見込まれる、成田国際空港及び周辺施設を見学できるコースです。一般には公開されていない成田空港制限区域を特別にご案内します。空港職員によるガイドのもと、日本を代表する成田国際空港について見識を深めてみませんか？エアポートレストランでのランチ（カレーセット）付き。

11時50分ホテル出発→12時30分成田空港到着（昼食）→13時30分空港施設及び制限区域見学（2時間～2時間半程度）→16:00成田空港第2ターミナル3階で解散